

消費者と提携し地域農業を守る



# 下郷農協

2021

7

No. 713

January

迎春

“丑年”良い年になりますように

生まれて1ヶ月の子牛と伊原酪農組合長



# 謹んで初春のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長 矢崎 和廣



新しい年を迎え、組合員・消費者・地域のみなさまにおかれましては穏やかにお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、農業をめぐる情勢が厳しさを増す中、農協の事業運営にご理解ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

## コロナ禍で一変した生活

2020年は新型コロナウイルス感染症で始まり、今尚終息が見通せない状況です。

新型コロナウイルスの感染拡大は世界や日本の経済活動をも一変させ、事業や行事などこれまで「普通」であったことが「普通」ではなくなりました。特に、第六十四回の農協祭中止の決断をせざるを得なかった事は、慚愧(ざんき)の念に堪えませんでした。

ただ、新型コロナウイルスの感染拡大はグローバル社会の中で見直される機会ともなり、

田舎への移住や田舎での暮らし、農村や自給自足などが見直され、さらに田舎の価値が高まって欲しいものです。

## 「家族農業10年」の中、家族農業が大幅減少

2020年農業センサス調査の結果、主な仕事は農業の「基幹的農業従事者」は136万1,000人と前回調査の5年前より39万6,000人減少しました。減少率は過去最大で高齢化が響いたとある一方で、1経営体当たりの耕地面積は初めて3ha(3町歩)を超え、規模拡大が進んだと報告しています。

また、農業経営体のうち家族で営む「家族農業」は103万7,000で前回より30万3,000(22.6%)減少しました。一方、家族農業以外の「団体経営体」は3万8,000と1,000(2.6%)増加し、法人経営体も3万1,000で4,000(13%)増加しています。世界的に「SDGs」(持続可能な開発目標)を掲げ取り組まれている中、「家族農業10年」は貧困や飢餓の撲滅、環境破壊や気候変動の問題などに大きく寄与するという観点から国連で採択され取り組まれています。

しかし、日本では儲かる農業、農業の競争力強化を掲げ、家族農業は要らない方向で進められているのが現実で、その結果が農業センサスに如実に表れています。

## 丑年は転換期の年

今年は「辛丑年」です。「辛」は「草木が枯れ、新しくなる」として「状態」で、「丑」は「種から芽が出ようとする状態」を意味しています。これは、終わりと始まりという意味もありちょうど「転換期」ということだとも言われます。

下郷農協は、新たな5ヶ年計画がスタートし3月には1年目の決算、そして2年目と入ります。今後とも合併せず地域に頼りにされる農協であるために、体制はもとより商品企画や業務見直しなど新たな取り組みを実施しなければならぬ重要な転換期の年となります。

コロナ禍の中で時代も変わってきています。今後も辛い事は多いと思いますが、次に向かって役員一緒になつてがんばろうと思える体制づくりを進めます。

## 下郷農協として

### 存在する事を自信に

新型コロナウイルスの感染症拡大というこれまでにない情勢と向き合いながらも、引き続き畜産をはじめ、コメ・野菜など

の生産状況は厳しい傾向にあります。ただ、昨年より冠地どり生産で国の後継者研修事業が始まり、黒豚については後継者がUターンにより就農するなど、明るい話題も出てきました。引き続き、再生産に繋がるための役割発揮、地道な声掛けや情報提供を続けながら生産の拡大につなげて参ります。

地域で下郷農協として存在する事に自信を持ち、引き続き組合員はもとより消費者や地域の方々から「必要」とされるように努めて参ります。

6年前に「信用事業譲渡」を実施した下郷農協は、「組合員が主人公の農協運営」を基本とし、安全・安心、有機農業を基本とした経済事業で生き残っていく道を追求し、合併せずにやる道を進めざるをえず再スタートしています。

小さい農協の生き残りは決して楽な環境下ではありませんが、農家組合員の営農と暮らしを守り、地域が少しでも発展し、農協も事業計画が達成出来るよう今年一年を精一杯頑張ります。

結びに、過去に類を見ない新型コロナウイルスという厳しい状況の中ではございますが、組合員そして消費者の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

下郷農協女性部 部長

三上 あけみ

謹賀新年 今年もよろしくお祈りします

マスクをつけ、消毒をして、密を避け、コロナ対策をしながらの女性部活動は何ができるのでしょうか。

毎週新聞を届けている80才を過ぎた一人暮らしの女性Mさん、いつもお茶をよばれ、娘曰く「お茶飲み会」をしていました。

この10ヶ月、入口で「元気ですか」と短時間の会話をするだけになりました。

市内で暮らす子供達から「外に出るな」「必要な物は買って来るから…」と言われ、話し好きなMさんは「パーマにも行けない」「歯医者にも行けない」、そして「コロナにだけは殺されたくない」と言っています。

みんなの願い！コロナは早くおさまれ！

今年はまず「お茶飲み会」復活を目指しましょうか。

核兵器の終わりの始まり

核兵器禁止条約が国連で採択されて三年、批准国が発効要件の50ヶ国に到達しました。核兵器を全面禁止し違法化する画期的な国際条約が、年明け早々の1月22日から発効します。広島、長崎の被爆者をはじめ世界の市民と多数の国々の共同の力が歴史を前に動かしたのです。

私達女性部の力もほんのちょっぴりですが、役立ったのです。

さあ、核兵器の終わりの始まりです。発効する条約に日本は参加していません。今年が選挙の年です。平和と命、暮らしを守るために選挙に行きましょう。



部員と楽しくゴキブリ団子を作る三上部長（左）



葉色スケールを当て施肥量を検討する鷹崎組合長

健康米生産組合 組合長

鷹崎 満行

「温暖化で稲の大敵 トビイロウンカ被害」

多くの尊い生命、家屋、農地を奪う例年にない長い梅雨となりました。

中国大陸から九州北部にのびる梅雨前線も長い間停滞する事となりました。この前線は西日本に中国南部から南西風に乗せて稲の大敵トビイロウンカも運んできました。

稲のみに寄生するこの害虫は増殖を繰り返して、栽培後半に「坪枯れ」や「反枯れ」を引き起こします。被害は西日本全域におよび、作況指数が過去最低となる地域もできました。下郷でも、今までに経験した

事がない大発生に大きな被害を被りました。収穫間際またたく間に枯れてしまう稲、健康米生産者の中には、自分達の食べる米がない方や、生活がかかっていいため苦渋の決断で防除を余儀なくされた方もいました。どれだけ悩み苦しんだらうと胸が痛くなりました。

これからは、トビイロウンカの飛来を想定し、品種の選定や耕種防除等の栽培技術の向上を図り、生産の規模拡大に向けて努力してまいりたいと思います。本年がどうぞ穏やかな一年でありますよう祈ります。

耶馬溪黒豚部会

石川 栄二

家族四人、新しい気持ちで

昨年はいつ終わるかわからないコロナが始まり、日本中がどう生活していくか、模索する日々が続いています。

我が家はコロナの影響はないと思っていました。肥育豚舎はオガクズを敷いたオガコ豚舎にしているため、建築業界の不振が製材所にも影響し木材が出ないのでオガクズも出なくなり、希望した時すぐオガクズが手に

入らなくなり、豚舎の掃除や豚の移動もオガクズが手に入る具合で決めざるを得なくなっています。

昨年9月によく息子夫婦が帰ってきて、養豚を引き継いでくれています。

子どもの頃から手伝っていたので、仕事はすぐ慣れ、若いということは素晴らしいです。私たちがゆっくりしていたことが、どんどんなはかどります。

私たち夫婦では頑張つてあと1〜2年だったと思うので、農協や消費者の皆様にも安心して豚肉を提供し続けられるので息

子たちに感謝しています。

ただ、豚熱の広がりや環境基準の対策や飼い方等の細かい指導が入るようになり、私たちのような小さい家族経営の所はなるべく薬を使わない経営の仕方も含めなかなか対応が難しく、やる気も無くしそうで今後の国の方針が気になります。

今年は家族四人でまた新しい気持ちで頑張ります。

皆様もお身体大切に、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

有機野菜生産出荷組合 組合長

鷹 崎 満 行

昨年をふりかえって

新型コロナウイルスは農産物に大打撃を与えました。

外食産業が低迷し、イベントや葬祭の中止で需要が落ち込み、苦境に立たされた多くの生産者ができました。

コロナは私達の野菜出荷には幸いにも大きな影響はありませんでしたが、七月の梅雨の大雨や日照不足、八月の連日の猛暑

には対処できず、収穫までになどり着けなかった野菜が多く出てしまい、需要に比べられなかった事に課題を残しました。

また、コロナ禍で交流会中止等、私達の生産現場を見て頂く事ができず、とても残念な思いがしました。

下郷農協の最大のイベント第六十四回農協祭が開催されなかった事もとても残念でした。

本年、コロナが終息し、早く普通にもどる事、穏やかな一年である事を願ってやみません。



耶馬溪酪農組合 組合長

伊 原 忍

丑年の新しい年に



学乳休止でテレビ取材を受ける伊原組合長

新型コロナウイルス、2020年は、すべての業種において振り回された年だったと思います。そしてまだいつ終息するかさえ分かりません。

自分達、酪農組合も緊急事態宣言が出た時など大変な時期に産直消費者や生協さんの協力に助けられ本当に有り難く思っています。

生き物を飼っている自分達は365日休む事は出来ず、もし感染したらと思うと、ゾッとします。

ほとんどの年中行事が中止となつてしまい寂しい一年だったと思います。

新しい年は丑年です。酪農組合5つの農家が農協と協力しながら良い年になるように頑張つて行こうと思います！

産直土の会 役員

高橋 麻理子

あけましておめでとうございます

昨年からコロナ禍で、社会生活を一変させる状況となり、まだまだ収束をみないのが現状です。

そんな中で、生産者の皆さん、農協職員の方々が、私たちに毎週安心・安全な商品を届けて下さる事に感謝です。

「土の会」もこれといった活動も出来ず、毎年参加していた農協祭も中止により下郷の地へも行けなくなり、寂しい一年でした。

また、今年の「土の会」総会も文書による議決となり、会員の皆さんとも会わずじまいです。返信ハガキの中には、私たち役員に「無理しないで」という温かい言葉が書かれていたり、農協には「おいしい牛乳・卵・お肉を配達していただき感謝しています」「少しでもおいしいお野菜やお肉等をお願い、細々と注文しています」「野菜セットの種類は、好き嫌いのあるようなものは、毎回入れないで下さい。使いみちに困ります」といったような声もありました。そんな会員との「つながり」に思いを馳せ、これからも頑張っていくと思っています。

昨年はコロナの上に「ウンカ被害」もあり、お米生産者の方々は大変だったろうと案じています。また下郷の地へ行けることを心待ちにしています。皆さん、元気を出して乗り越えましょう！

本年もよろしくお願ひいたします。



料理交流会のあと皆さんと（緒方代表：前列中央）

産直大地の会久留米 代表

緒方 忠臣

寒く長い夜の楽しみ

新年あけましておめでとうございませう。今年も何卒よろしくお願ひいたします。  
この冬は新型コロナウイルスのせいで、もっぱら家にこもっています。だから夜が長い。早く寝ると深夜に起きてしまい、その後眠れなくなつて次の日は間違いなく睡眠不足。だからなるべく起きておこうと努力しています。  
そんな長い冬の夜に私の部屋で活躍するのが昔ながらの石油ストーブです。暖をとるだけでなく、上にヤカンを乗せておけばお湯が使えます。沸いたお湯を湯たんぽに入れて布団の中はパラダイスです。またポットに入れてとって

おけば朝、顔を洗う時に快適です。こんな優れた石油ストーブですが欠点があります。それは、下郷から届いた小餅やさつま芋を焼いて食べようと私をいつも誘惑することです。悪魔の囁きを振り払うことは意思の弱い私にはとても難しいことです。でも、餅や芋を焼くと煙が出ますので窓を開けて換気する必要があります、ウイルス対策にもいいんじゃないかと自分に言い訳しています。蛇足になりますが、もちろん、私の部屋の石油ストーブはコロナストーブです（ダジャレです）。  
今年も新型コロナウイルスに打ち勝ち、総会も農協祭も皆んなの笑顔を直接見ながら開催できるようにしたいものです。

下郷農協労働組合 執行委員長

古賀 千尋

安心安全な商品を消費者へ

新年あけましておめでとうございませう。

昨年から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス。

現在も収まる気配もなく、第3波として全国各地で感染者が増えています。

コロナ禍のなか、大変な状況に置かれています方々にお見舞い申し上げます。

下郷農協としても昨年は、創立以来続いていた農協まつりの中止など多方面で影響がでました。

私たち下郷農協労働組合も組員14名と少ない人数ですが、農協まつりなど労働組合としての活動もなかなか出来ない状況でした。

今年も、まだ先が見えず不安な日々が続く状況ですが、少しでも明るい光がさしてくれればと思っています。

労働組合も一致団結して、生産者・消費者の皆様へ安全・安心な商品を届けられるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

新日本婦人の会福岡県本部 会長

三輪 幸子

「コロナ禍で考える  
食と農のこれから」

食料自給率が37%という日本、何かあれば瞬く間に食糧難に。2019年には種子法廃止、2020年末には改定種苗法が成立、これから日本の食料、農業はどうなっていくのか不安がつのります。

現状を良く知り、私たちに出来ることは何かを考えようと昨年10月、「コロナ禍で考える食と農のこれから」と題して学習会を開き、100人を超える参加がありました。

講師には農民組合福岡県連合会会長の佐々木督文さんと日本共産党衆議院議員で農林水産委員会所属の田村貴昭さんにお願ひしました。



佐々木さんは30年前、新婦人との産直が始まった時「里山にどんぐりを植えよう」と取り組んできたこと、毎年大豆トラストで新婦人と一緒に種まき、収穫、味噌づくりに取り組んできたこと、「新婦人しんぶん」に載ったマイクロプラスチック被害を少しでもなくすためにヘチマを植えて作った」とヘチマたわしのプレゼントもありました。

「日本の農業を守れ」の世論が広がっている。世界の流れは脱・新自由主義。家族農業を中心に農業と農山村を守る農政への転換を求めよう、と話されました。

新日本婦人の会は、農産物の輸入自由化が進められた30年前から「安全な食料は日本の大地から」と農民連や下郷農協のみなさんと産直運動に取り組んできました。

「安全でおいしい国産の農畜水産物を作り、食べて、日本の食料自給率の向上、食文化の継承、農業の担い手づくりをめざしていくこと」などを共同の目標として、広げる努力をしてき



ました。

今、国連ではSDGs（持続可能な開発目標）17項目の実践がすすめられています。また国連家族農業10年の取り組みも始まっています。自国の家族農業を大切にすることは世界の流れです。

参加者からは「食料・農業の問題の深刻さがよくわかった」「安易に輸入品を購入していることを見直したい」などの感想がだされ、家族農業が大切にされるよう、日本の農業が持続・発展を求めてこれからも産直運動を広げていこうと確認し合いました。

店舗紹介

「BAKERY  
青い空」様

～おだやかなパンで 心を晴れやかに～

昨年11月22日にオープンされた「青い空」様は、身体への負担が少なく、栄養価の高い、素直においしいと思える食材を選んで作られています。



「小さい頃から労農牛乳（現・耶馬溪牛乳）を家で飲んでいて自然と安全な食材を求めようになった」と店主の仁田野拓海さん。

耶馬溪牛乳で作ったふんわり食パンは厚めのトーストがおすすめ。

住所：大分市三ヶ田町2丁目3-11  
ソラリアコレテ103号

Tel：097-511-4623

http://www.bakeryaoisora.com

営業時間：10:00～18:00 定休日：毎週火・水曜日



下郷有機農業産直の会 会長

葉山 牧子

昨年は年始早々思いもかけない「新型コロナウイルス」に世界中が震撼し、年末までさらに猛威をふるっている状況でした。ワクチンの出現に期待が集まっていますが、このウイルスを克服できたとしてもまた次々と新しいウイルスが出てくると科学者は警告しています。その根本原因は人間が地球を傷め続けていることです。海のプラスチック公害も気候変動による温暖化もすべて人間の行き過ぎた経済活動の結果です。今や魚類や植

物の分布にまでその影響は及んでいます。農業に於いても果物・野菜・穀物生産の北限がどんどん上がってきています。野生動物も追い詰められ環境の変化についていけず新たなウイルスの蔓延を招いていると考えられています。コロナウイルス問題も自然界からの人類への警告と真摯に受け止めるべきでしょう。

こうしたことから農薬もビニールハウスも使わず自然に逆らわない農業を続けてこられた下郷農協の姿勢は尊いと思います。今年もご一緒に頑張りましょう。

寒い季節の農作業で注意したい脳出血



家族の健康

健康科学アドバイザー ● 福田千晶

寒さが誘引する病気の一つに脳出血があります。動脈硬化や加齢で傷んだ脳の血管に急に大きな圧力がかかると、脳の血管が破れて脳出血になります。

脳出血は、ほとんど前兆がなく発症し死に至ることもあります。命が助かっても後遺障害が一生残る場合も多いのです。手足が自由に動かせなくなるまひ、言葉や視界の障害、記憶力や集中力の低下などさまざまな障害が残る可能性があります。場合によっては介護が必要になることもあります。

前日より気温が一気に下がった朝や温度差が大きい日に血圧は上がりがちです。血圧が高いのに、生活改善や必要な治療を行わず放



置していると、脳出血を起こしやすくなりとても危険です。

日頃から塩分の取り過ぎ、多過ぎる飲酒量、喫煙、ストレスなどの生活習慣は、高血圧につながります。思い当たる人は、高血圧予防のために生活習慣の見直しも大切です。

コロナ禍で「医療機関には新型コロナウイルス感染者がいて怖いから、行かない方が良い」と、定期的な通院を中止し、病気の治療が中断したままの人もいます。脳出血の予防には、まず、高血圧の人は適切な治療が必要です。今ままで控えていた人も、通院を再開しましょう。血圧がやや高めになつてきた人も、食生活や運動、睡眠など生活を見直してみてください。

農作業はトラクターで生活は自家用車、そんな運動不足の人はウォーキングなどの運動を継続しましょう。食生活は栄養バランスを考え、塩分控えめにして薄味に慣れましょう。冬になって寒い日に農作業をするときは、時間をかけて寒さに慣れてから作業を始めます。急に寒い場所に出たり、グツと腕に力を入れると血圧が上がります。毎日血圧を測定し、高い日や気分が悪い日は農作業を休む勇気も大事です。

# 謹賀新年丑年「牛」クイズ

新年明けましておめでとうございます。  
今年の干支（えと）は丑（うし）。牛にちなんだクイズをお楽しみください。

Q1

日本で飼育されている  
乳牛と肉牛の頭数は  
どつちが多い？

- 乳牛
- 肉牛



Q3

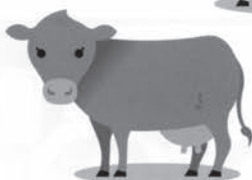
牛乳のおいしい  
季節は？

- 夏
- 冬

Q4

日本で一番多い  
乳牛の種類は？

- ホルスタイン種
- ジャージー種



Q2

日本の都道府県で  
一番、生乳の  
生産量が  
多いのはどこ？

- 北海道
- 熊本県



## 解答

A1 肉牛

日本で飼育されている乳牛は135万2000頭、肉牛は255万5000頭と肉牛の方が多いです（2019年）。乳牛は雌のみのため、乳牛から生まれた雄は肉牛として飼育されていることも、肉牛の方が多い理由の一つといわれています。

A2 北海道

北海道は生乳の生産量が404万t（2019年）で日本一！生乳とは搾ったばかりの乳のことで、牛乳は生乳を殺菌した飲用乳です。日本で生産される生乳は731万tにも上ります。北海道で生産された生乳は、牛乳以外にもチーズやヨーグルトなどの加工品になります。

A3 冬

牛は気候や温度、湿度などの環境の変化を受けます。乳牛の故郷は寒冷地であるため寒さには強く、冬に餌をたくさん食べて体に脂肪を付けます。冬の牛乳は脂肪分が高く濃厚な味がして一番おいしいといわれます。夏は餌を食べる量が減るため脂肪分が少なくなるといわれ、さっぱりとした口当たりです。

A4 ホルスタイン種

白黒のぶち模様のある牛がホルスタイン種です。日本で飼育されている乳牛の99%以上を占めています。ホルスタイン種の次に多いのはジャージー種。ホルスタイン種と比較してとれる乳量は少ないですが、乳脂肪分は高く濃厚な味です。

A5 x

脂肪分が0.5%未満の場合に無脂肪乳といい、脂肪分は0%ではありません。低脂肪乳は脂肪分が0.5%以上1.5%以下で生乳から成分（水分、脂肪分など）の一部を除去した物です。牛乳は生乳100%かつ成分無調整の物を行います。



Q5 無脂肪乳の脂肪分は0%である。

● ○  
● ×

Q7 日本で牛乳が発売された当時はどんな容器だった？

- ガラス瓶
- ブリキ缶
- 紙パック



Q6 日本の牛乳輸入量の割合はどのくらい？

● 0%  
● 20%  
● 50%

Q8 牛乳を温めるときは電子レンジで加熱した方が栄養素が多くとれる。

● ○  
● ×



Q9 日本でアイスクリームが食べられ始めたのはいつから？

- 平安時代
- 明治時代



Q10 チーズには2種類ある。ナチュラルチーズともう一つは？

- プロセスチーズ
- カマンベールチーズ
- クリームチーズ

A6 0%

牛乳は自給率が100%の食材です。つまり、日本で販売されている飲用の牛乳は全て国産。牛乳は生鮮食品なので輸入に頼ることが難しいのですが、チーズなどの乳製品を含めても自給率は60%以上と他の食材と比較して高いのです。

A7 ブリキ缶

日本で牛乳が一般的に発売されるようになったのは明治初期の頃。大型のブリキ缶で運んだ牛乳をひしゃくですくって5勺(90ml)ずつ量り売りしていました。1888(明治21)年に衛生的なガラス瓶が用いられるようになり、紙パックで販売されるようになったのは1956(昭和31)年になってからです。

A8 ×

牛乳に含まれる栄養素であるタンパク質、ビタミンAなどは加熱に強い栄養素ですが、電子レンジで加熱すると急激に温度が上昇するため、ビタミンB12の量が半減してしまいます。牛乳を温めるときは鍋に入れて、ゆっくり加熱すれば栄養を損失しにくいのです。

A9 明治時代

平安時代に「削り氷」という氷菓が記録されていますが、アイスクリームが食べられ始めたのは明治時代になってから。1869(明治2)年に町田房蔵が横浜の馬車道で日本初の「アイスクリン屋」を始めました。当初は高価でしたが、1921(大正10)年にアイスクリーム製造専門の工場ができ、多くの人が買える価格になりました。

A10 プロセスチーズ

ナチュラルチーズは生乳から水分を除き、10倍に濃縮して発酵熟成させて作ります。カマンベールチーズやクリームチーズなどはナチュラルチーズの一種。一方プロセスチーズは、ナチュラルチーズを加熱してスライスチーズなどいろいろな形に加工した製品です。

12月13日、「いただきます！プロジェクト」お茶碗1膳から考えよう」（共同代表・宇都宮陽子・小山敬晴）主催の『種子法学習会』が中津市大貞の大幡コミュニティセンターで行われ、下郷農協からも生産者や



「将来世代のために食を種から考えて」と話す小山大分大学准教授

役職員が参加しました。

この学習会は、主食である米・麦・大豆の種子を守っていた種子法が廃止されたことで食の安全・安心が揺らぎ、遺伝子組み換えやゲノム編集技術などの安全性に不安のある食品の登場が危惧されることから、市民団体が消費者や生産者、議員などに呼びかけ開催されました。

DVD「種子—みんなのもの？それとも企業の所有物？」上映の後、共同代表でもある小山大分大学准教授が、種子法廃止や登録品種の自家増殖を「許諾制」にし農家の種採り（自家増殖）の権利を著しく制限する種苗法改正の内容や問題点などについて講演、全国で広がりを見せている地方自治体条例制定の重要性を話されました。

「種子法廃止や種苗法改正で多国籍アグリバイオ企業が種を支配する危険性を強く感じました。」「ゲノム編集などで出来た食べ物を子どもたちには絶対に食べさせたくない。」と参加した農協職員は話していました。

## 「持続化給付金」申請で農業続けよう

### 農民連が全国で呼びかけ

下郷農協も加盟する農民運動全国連合会（農民連）は、コロナ危機から営農と地域を守るため「持続化給付金」の申請を支援しています。（申請締切：2021年1月15日）

稲作・野菜・畜産などすべての農家（兼業含）が対象で、給付金申請で農業を続けようと呼びかけています。

詳しくは、

農民連耶馬溪支部事務局（三上・090-3600-4705）まで



### 人事異動

【異動】

11月30日付けで、石橋寛人（指導販売部）が一身上の都合により退職しました。

### 日曜当番医のお知らせ

下郷診療所は2021年1月3日（日）と1月31日（日）の9時～17時、日曜当番医です。

# 発熱患者さん受入時間のご案内



コロナ禍の中、インフルエンザや風邪の季節となりました。  
発熱の際、感染防止に向けてこれまで以上に対策を講じる必要  
があります。一般患者と発熱患者の接触を避けるために国、県の  
指導の下、発熱患者さん専用の受入時間帯を設けました！

**水曜～金曜**

**15:00～17:00**

一般患者さんは、なるべく午前中の  
診察にご協力ください



発熱患者さんは事前にご連絡いただくと  
助かります。ご理解・ご協力よろしくお願いします。

**なお、土曜日の発熱患者さんは受入できません。**

下郷診療所 TEL 56-2361

## 理事会だより

11月30日に第8回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項：①集落常会開催結果概要について  
②監事監査結果概要について  
③その他

第1号議案：10月決算承認の件

第2号議案：健康米生産に係る特別支援について

その他

- ・報告事項の集落常会開催結果概要については、10月28・29日一斉に開催された集落常会の出席者人数や集落別組合員意見・要望内容について報告されました。  
監事監査結果概要については、11月2・4・5日の3日間行われた2020年度上期決算に係る監査内容で主要指摘事項の報告が行われました。
- ・第1号議案の10月決算承認の件については、事業利益△8,134千円の計画に対し△8,584千円で450千円の未達成となりました。  
事業利益は計画対比で、収益部門のうち販売3,109千円・診療所1,129千円・牛乳976千円・農産474千円等が達成、惣菜2,517千円・共済1,080千円・葬儀933千円等が未達成となりました。
- ・第2号議案の健康米生産に係る特別支援については、2020年産米の生産状況が長梅雨や台風の影響に加え、トビイロウンカによる害虫被害により多くの稲作生産者に大打撃となり、特に健康米生産においては、安全・安心な水稻の栽培基準に基づき害虫被害に対する防除対策に限られ、全損被害等、多くの生産者が被害に見舞われ、今後の生産活動にも大きな影響が危惧される事から、下郷農協として健康米生産に対し今年の収入減少の一部補填および来年度以降も引き続き生産に取り組んで頂けるよう、僅かではありますが見舞金を支給したい旨を付議・承認を受けました。

読者プレゼント

パズル?

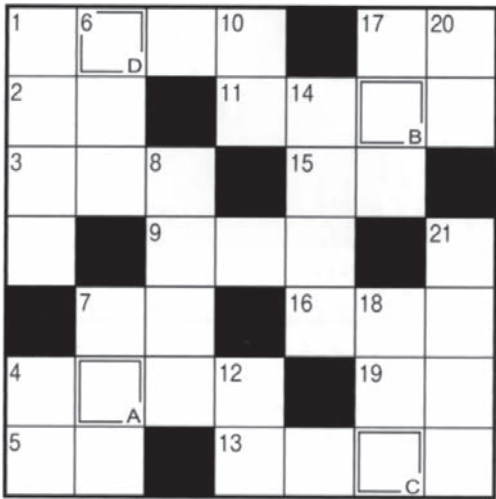


Q 二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

タテのカギ

- 1 羽根突きに使う道具
- 4 すずりですりませ
- 6 止まらずに進むこと
- 7 重さを知りたいときに使います
- 8 テレビやエアコンに向けてボタンを押します
- 10 ご飯のこと。焼き——
- 12 いんいちがいち、いんにがに……
- 14 ——付きのタイで成人を祝った車が動きださないようにタイヤにかませませ
- 17 同種の事例は枚挙に——がない凍った場合は氷瀑(ぼく)と呼ばれます
- 18 ひもの——が固くてほぐけないよ
- 21

- 10 ご飯のこと。焼き——
- 12 いんいちがいち、いんにがに……
- 14 ——付きのタイで成人を祝った車が動きださないようにタイヤにかませませ
- 17 同種の事例は枚挙に——がない凍った場合は氷瀑(ぼく)と呼ばれます
- 18 ひもの——が固くてほぐけないよ
- 21



先月号のこたえ



先月号のこたえ 「シュンギク」  
当選者  
東京都品川区 金子 千紘 様

ヨコのカギ

- 1 一富士ニタカ三ナスビは、何に見ると縁起の良いもの?
- 2 キャンパスの大きさを表すときに使う言葉
- 3 港を表す地図記号はこの形
- 4 強烈な悪臭がする液をお尻から噴射して身を守る動物
- 5 1/100はセンチ、1/1000は
- 7 なぜか猫が入りたがる物
- 9 大豆や緑豆の種子を暗い所で発芽させた物
- 11 物事をするのにちょうど良い頃合い
- 13 おせち料理に入れる煮豆
- 15 鶴は千年、——は万年
- 16 ご飯のこと。カレー——
- 17 ぬいぐるみに詰めませ
- 19 ピーヒーロロと鳴く大きな鳥

先月号のこたえ

9	2	8	5	3	6	7	4	1
4	1	5	2	7	9	8	6	3
6	7	3	4	1	8	9	2	5
8	6	1	3	5	7	2	9	4
5	4	2	9	8	①	3	7	6
3	9	7	6	2	4	5	1	8
2	5	9	1	6	3	4	8	⑦
1	8	4	7	9	5	6	3	2
7	3	6	8	4	2	1	5	9

先月号のこたえ ①+⑦=8  
当選者  
中津市山国町 川口富貴子 様

解答は次号で

		7				6		2
				3			1	
5		6	4					
					8			7
	1						8	
6			5					
					7	3		4
	4			1				
2		8				9		

①《数独のルール》  
①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。  
②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスある3つのブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入りませ。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

数独 (すうどく)

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇二一年一月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ A B C D E
- (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七九一〇四三二

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一四  
下郷農協 企画部 宛  
Faxの方は  
〇九七九一五六―二八八九

\*個人情報他者への開示は一切致しません  
が当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

ふれあいの店に応募箱を設置しています。  
たくさんのお応募お待ちしております!!

